

むくろじ

「向道環境保全会」が平成二十七年 多面的機能発揮促進事業 中四国農政局長表彰最優秀組織表彰受賞！



表彰状を受け取る井上正幸代表

一月二十九日、中四国農政局で、向道環境保全会が『平成二十七年多面的機能発揮促進事業 中四国農政局長表彰最優秀組織表彰』を受けました。この表彰は、地域資源、農村環境の維持保全

などでの優良な取り組みを表彰し、関係者の意欲高揚を図る事を目的とした「多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰」として実施されています。ここでいう農業、農村の「多面的機能とは」、農業が農産物を生産する産業ということだけに留まらず、農林業が営まれ続けることで、森林や水田が雨水を貯留し、水害から人々を守る役割を果たし、多様な生き物を育み、その景観に人々が心を和ませる、といった役割を果たしていることを表すものです。

向道環境保全会は、一haの棚田法面の維持管理の労力低減のため、マルチ被覆を施し、芝桜十萬本を植栽しました。この取り組みの中で、都市部の住民の方と交流し、そこが憩いの場、癒しの場となり、開花時期には、毎年四万人の方が訪れる事などが評価されました。これだけでなく、芝桜の取り組みにより、地域が元気になり、お年寄りを対象とした便利屋事業、高齢者サロン、生活交通もやい便等の活動が始まり、地域住民が運営する活動拠点、夢求の里交流館が設立され、地域活動における様々な面での波及効果を生んだことが大きく評価され、今回受賞の運びとなりました。

※向道環境保全会協定農用地 二〇・一ha(田十九・六ha、畑〇・五ha) ・組織編制 四集落(農家六十八戸、一戸) ・農業者、土地改良区、自治会

発行元
大道理夢求の里交流館
運営協議会
TEL : 0834-88-1830
平成28年
3月1日号
(No.11)



大道理地区の世帯数と人口
世帯数 188世帯
人口 400人
男性 182人
女性 218人
(平成28年1月31日現在)

向道環境保全会 井上正幸代表

この度の受賞について、二〇〇八年十一月に百笑俱樂部を立ち上げた井上正幸代表に、これまでの活動について、そしてこれからの展望そして夢についてお話を伺いました。

百笑俱樂部綱領

「我が大道理は、ほととぎすの清らかな水・空気が、静かな谷間、点在する家々は徳山北郊の原風景である。この恵まれた自然環境を地域住民はもとより、都市の多くの人々と共に四季を通じ五感で感じあえる交流を回り、活力と生きがいのある大道理、そして子や孫に引き継げる地域づくりを目指します」



大道理 新畑東地区の秋の田園風景です

原点は芝桜の植栽

井上館長「今回の受賞は、他に類のない特別な事例だったと思います。目に見える多面的な要素での受賞事例は今まで沢山ありました。しかし、大道理の例は、地域コミュニティ活動の様々な分野への発展という波及効果を生んだ、目には見えない「心の多面的機能」が発揮され、この部分が



芝桜の草刈り作業風景。傾斜の急な斜面での作業です(8月 百笑俱樂部)

大きく評価されました。芝桜を植える前には、このような形で発展することを予想してはいませんでした。

きっかけは、平成七年の圃場整備事業。先祖から代々受け継いできた大切な農地を維持して、子や孫に伝えたい。けれど、法面が多い田んぼの



芝桜植栽風景です

一八〇度方向が変わりました。

畔の急な斜面での草刈り作業はお年寄りにとつて大変な重労働で、作業中の転落事故は命の危険と隣り合わせです。草刈り作業の労力を減らすために、防草シートを法面に張り、そこに芝桜を植えたことで、



芝桜まつりでのにぎわいの風景です

だけで行うのが難しくなり、地域全体へと広がり、段々と地域活動の幅が広がっていききました。そのことが夢プランの実現へと前へ向いていこうと進み始める足がかりとなつて、ほたる工房ができ、生活交通のめやい便が始まっていく端緒となりました。

幅広く発展した地域コミュニティ活動



【高齢者サロンの様子】 皆さん楽しい時間を過ごされています



【大道理ほたる工房の皆さん】



【便利屋事業での作業風景】 高齢者のご自宅の庭木を剪定中です！



【生活交通もやい便】

交流人口を増やし、次の波及効果へ

これから様々な波及効果を生んでいかないと、農村は維持できないという強い思いがあり、それぞれの地域にはその地域ならではの特性が必要だと思つています。地域を見つめ直したら必ず宝があり、中山間地域が生き残っていきたくためには交流人口を増やすことが大切で、地域に住んでいない人、外から来た人が一緒に知恵を出し合うと、新しい何かが生まれます。



キャリアデザイン専門学校の生徒さんがデザインされた「八代のツル」

以前から、芸術家の方に大道理に来てほしいという希望がありました。芝桜の取り組みを通じてキャリアデザイン専門学校の生徒さんとのつながりが出来、今年度、翔北中の漫画村ができることで、若者たちが大道理地区に移住してきます。かねてからの希望がいよいよ実現しつつあります。漫画家、デザイナー目線で地域を見るとまた違つてきます。新しいことにどんな挑戦して、輪を広げていくことが大切です。

周年を通じて五感で楽しめる花の里に



桜の苗木を植えています！

これからの活動として、芝桜だけでなく、遊休農地を利用して花を植え、春は菜の花、ソメイヨシノ、芝桜、八重桜。夏は向日葵。秋はコスモス、紅葉というように周年を通じて来られた方が楽しめるような花の里をつくりたいです。

そうすることで経済効果も生みだせます。次の波及効果を生み出すものとして、今年の四月一日完成予定で、芝桜会場に、蒟蒻づくり、豆腐づくりなど農業体験ができる施設を建設中です。(平成二十八年二月現在) 地域づくりは長いスパンで何をすべきかを考えて、今できることを実行していくことが大切です。計画を立てる時は短期間で立てる。夢プランは二年、芝桜は二年と期間を決めて実行に移しました。目標は「アサギマダラが飛んでくる里づくり」。ここに住む方、よそから来られる方が五感で感じられるような地域にしていきたいです。千キロ旅する蝶になぞらえて、遠くから花を眺めに人が足を運んで来られるような魅力ある地域づくりをし、芝桜だけでなく、地域全体が元気になって、「住んでよかった」「住んでみたい」地域にしていきたい、お年寄りに優しく、大切に地域づくりをしていくことがこれからの目標です。

ひと 次世代へ伝えたい技 竹細工職人福原新さん

暖冬といわれた今シーズンの冬でしたが、一気に大寒波がやって来て、まとまった雪となった一月十一日。昨年十二月に、「むくろじ」で大道理地区の「ふるさと祭」の昔を知る方からお話をお伺いするために、ご自宅にお伺いした福原新さんから、「これから竹細工を始めから、良かったら見に来るかね？」というお電話を頂き、実際に作られているところを見せて頂きました。



福原さんが竹細工を学ばれたのは、昭和二十一年のこのとで、山口市で三ヶ月間の寮生活を送りながら、技術を身に付けられました。



福原さんが竹細工を学んだ時期はちょうど戦後で、物が無い時代。町場から野菜などを買い求めに來られる方の自転車の籠（通称やみ籠と言っていたそうです）などが良く売れ、「生活の支えになった」とおっしゃいました。

福原さんが竹細工を学んだ時期はちょうど戦後で、物が無い時代。町場から野菜などを買い求めに來られる方の自転車の籠（通称やみ籠と言っていたそうです）などが良く売れ、「生活の支えになった」とおっしゃいました。時が流れて、竹細工の需要が少なくなつた後は会社勤めをされたそうですが、かなりのブランクがあつても「体が覚えていた」と言われ、スムーズに再開できたことが伺えました。

培った技を伝えるために…



ルーラルフェスタでの竹細工実演の様子

の会を作り、人が集まったら作り方を教える、とおっしゃいます。

ルーラルフェスタが大道理地区で行われていた頃には、竹細工の実演をされたり、小学校に行つて、竹とんぼづくりを教えて、皆で飛ばしたりといった内容の活動もされていたそうです。福原さんは、ご自身が身に付けた技を残したいという思いを強く持つておられ、竹細工

竹細工に使う竹のお話



竹細工に使う竹をご自宅近くの日陰に置かれています

竹細工を始めるにあたり、竹の種類について、まず、ご説明して下さいました。福原さんが竹細工に使う竹は「ホンダケ」という種類の竹で、定期的には孟宗竹、破竹が生えた後、一番遅くに生えてくる竹なのだそうす。

孟宗竹は繁殖力があつて、はびこつて困るくらいなので、竹細工に使えば良いのですが、残念ながら、「身が硬く、肉厚のため、加工しづらく竹細工に向かない」とのことです。竹細工に使うホンダケは孟宗竹ほどの繁殖力はなく、大道理でもあちらこちらにあることはあつても、残念ながら沢山の数は無いということも教えて下さいました。竹は十月、十一月が一年の中で一番良い切り時で、その他の時期に切ると、虫がついてダメになるそうです。

職人技が光る作業風景



皮と身の部分とに分けておられます

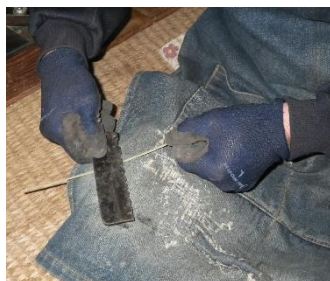


竹を半分、またその半分に、と加工されています

「竹ひご」づくりは、丸い竹を半分に割り、それをさらにまた半分に割り：という作業を繰り返していき「編むのは器用な人じゃたらすぐになれるように作るのにはすぐにはなかなかできません」とのことですが、長年竹細工をされてきた福原さんは、体が覚えていたため「指が自然に動く」のだそうで、「よそ見しちよつても出来る」と、とても自然で流れるような美しい動作で加工され、職人さんならではの熟練の技を目の当たりにして、釘づけになりました。



竹ひごの幅を均一にするための道具。福原さんの手作りです



面取りに使う道具。竹ひごの幅が数種類ずつあり、その幅に合わせて竹を通して面取りできる優れものです



「そうけ」を編んでおられます。完成するまでに3日かかるそうです。

大道理をよくする会からのお知らせ

「翔北スポーツ交流会」

★性別年齢問わず、気軽に楽しめるニュースポーツを皆さんと一緒に楽しみませんか？

内容：「人気上昇中」のノルディックウォーキング、卓球、室内ペタンク、シャッフルボード

日時：平成28年 3月20日（日）

午前8時半～12時

場所：旧長穂小学校 体育館

★簡単な昼食をご用意いたします！



夢求の里交流館からのお知らせ

ミニサロンのお知らせ

日時：3月9日（水）

13時30分～16時

場所：大道理夢求の里交流館 大会議室

対象者：男女年齢問わず どなたでも歓迎

備考：ご希望の方は、送迎をいたします

サロンのお誘い

日時：3月23日（水）

10時30分～16時

場所：大道理夢求の里交流館 大会議室

対象者：男女年齢問わず どなたでも歓迎
ご希望の方は、送迎をいたします



編集後記

福原新さんに竹細工を見せて頂く数日前、ちょうど山口県の竹細工のことを紹介しているテレビ番組をみました。竹林面積が全国第三位の山口県。増殖し続ける竹を活用し、竹を一枚の板にしてから加工を施す「成形合板」という技術を使い、美しい曲線のモダンな家具を作っている萩市の家具製造会社について紹介されていました。この会社で作られた竹製の椅子が米国アカデミー賞受賞式会場で使用されたということも知り、困りものと思われていた竹がこんなにも素敵に生まれ変わるのかと、とても驚きました。事前に竹細工の番組を観たことで、さらに「職人さんは凄いな」という思いを強くして、福原さんの「竹ひご」作りの過程を見せて頂きました。「体が覚えている。指が自然に動く」と福原さんがおっしゃっていた通り、スーッと静かに水が流れるような自然で美しい動作の連続で竹を次々と加工されていく様子をカメラに収めながら「おおく」と感嘆の声を一人あげつつ見とれてしまいました。福原さんが竹細工に使われている道具は、普段目にするものではない特殊なものも多く、これはこうやって使うものだと言明しながら、作業を進めて下さいました。これらは、ご自身が効率よく作業できるようにオーダーメイドされたものや、ご自身手作りのもので、「凄いな、よくできてる！」と好奇心いっぱいに見せて頂きました。自然体でものづくりができることは、何につけても不器用だという自覚がある私にとつて憧れです。聴くばかりでなく、自分で好きな曲を弾きたくて始めたものの、教則本ばかりが増え、いつまでたっても上達しないギター、それから陶芸、カメラ。流れるようにごく自然体で思うように好きな曲を弾けたら…。自然な形でろくろを回して好きなものを作れたら…。自分の撮りたい写真を撮ることのできたら…。と、福原さんが自然体で、ものづくりされる姿に重ね合わせて一瞬、夢の世界へ…。しかし実際のところは、あれもこれもと手をだして、結局一つのこと打ち込む努力の姿勢も絶対量も足りないため、本当に遅々とした歩みでしか前に進みません。今年にはエネルギー分散型ではなく、これだけはと決めたものに集中して全力投球したいです。（山縣あきこ）